令和８年 11 月号　**五番町かわら版**　編集担当　区長

1.“秋祭り(大門神社祭礼)”盛大に行われる

９月１５日（日)、天候が不安視される中でしたが、天の神様は、五番町に味方してくれました。



出陣式で、区長が、「夜も眠られませんでした」と伝えると、「きっと楽しみででしょう？」と低学年の子どもさんが素直に応えてくれました。大人の目には、「不眠症の区長か？」と口調が果たして？の感あり

☜北方面巡行　　南本陣☝

反応でした。それはともかく、午前中は北側泉町方面、巡行。本陣は「桟敷原公園」地域の方々には大勢参加していただきました。区民の皆様方で大いに交流を深め、お祭りを楽しんでいただけました。午後の巡行は、南側方面。田村眼科医院さんのご好意で駐車場をお貸しいただき、ここでも沢山の皆様方が駆けつけていただき、和気あいあいとして交流を深めていただきました。おかげ様で、大成功の裡に終えることができました。実行委員のメンバーの多くの皆様方のお働きやご活躍（特筆；例年神輿巡行に携わっていただいています【五泉會】の皆様方）に支えられて、更には区民の皆様方のご理解やご協力による賜物と厚く、深く感謝いたしております。来年のお祭りは、秋晴れの晴天のもとで一層賑やかに執り行われればと願っております。



2.“五番町区敬老祝賀会”開催！

さる、１０月１１日（日）には、中信会館におきまして、「大門五番町区敬老祝賀会」を執り行いました。区内対象者は 200 名余ではありますが、３０名ほどにご参加いただきました。ご来賓は、大門地区選出議員様２名、社協五番町支部藤森分会長様にお越しいただき、ご光彩を添えていただきました。開会セレモニーのあと、吉田地区で歯科医院を経営しておられる、都筑文男歯科医師（落語演者：新風亭流行）による健口講演と、落語を拝聴しました。軽妙洒脱な話しぶりに圧倒されて時間がたつのも忘れるほどでした。続いて、「松本音楽団」による演奏をお聴きしまし



た。８名ほどの演奏者でしたが、年配者にはなじみのある曲（「川の流れのように」「上を向いて歩こう」「夢みるシャンソン人形」他）ばかりで、一緒に口ずさみながら楽しいひと時を過ごすことができました。その後は会食を楽しみ、お楽しみ抽選会も行いました。参加された皆様方は、異口同音に楽しみに浸れたことを語っておられました。とにもかくにも、後期高齢者になられた皆様方、「好機恒例」として一層のご健康とご長寿をお祈り申し上げます。来年度は、開催形態を持続できるかどうか、市よりの補助金見直し年度にもあたり、更なる検討が必要と思われます。



３．五番町点描アラカルト・・・・

（１）今年の９月は異常な長雨により、野菜物に悪影響がありました。スーパーに並ぶ野菜も高上りになり、消費者に負担を強いていました。農産物への影響だけでなく、「アメリカシロヒトリ」や「ハチ」の異常発生が区内でもありました。心配や不安により区への連絡も数件ありました。現場での確認によれば、害虫処理や空き家に発生するハチの巣対策は、いずれも住人が適切な処理や処置をしていれば防げているのではないかという人為的原因要素の事例が多々ありました。今後とも適切な処理や処置をお願いするばかりです。

（２）空き家の増加がある一方、取り壊し、更に更地に住宅を建築する様子が、区内でも数カ所目につきます。戸建て住宅です。区を預かる身からしますと、入居世帯の方が、区への加入をしていただけるかどうか、大変気をもむところです。該当組の方々には、入居が整ってきた場合、是非声掛けをしていただき、区への加入を勧めていただきたいと思います。同じ組の場合、何かと心強い面が多くあると思いますので、どうか宜しくお願いいたします。

Ｇ のつぶやき　「かわら版」隔月発行となり、「理由は？」「たのしみしているのに！」などと、何件か耳にしました。手前味噌で恐縮ですが、皆様に親しくお読みいただけていると思わされ、またそんな話に出会うと、自然と笑顔になります。笑顔といえば、とあるお寺の境内に「女のお化粧は笑顔である」と掲示がありました。女性に限らず、人間笑顔があると、場は和み会話も弾みます。世は、「〇〇ハラ」などと、「ハラハラ、ドキドキ」の事例が多すぎますが、笑顔は世の中の潤滑油となってきます。「笑顔と気よりの五番町に」と願うこと大です。